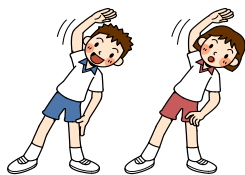


平成 30 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査



# かけがわの子どもたち

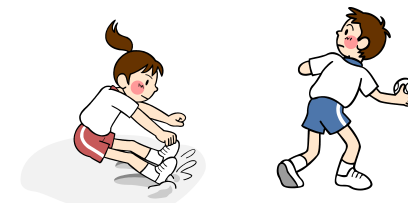


掛川市教育委員会

掛川市では、『教育大綱かけがわ』の中で、子どもたちの目指す姿の一つとして「豊かな心や健やかな体に高めていくひと」とし、健康教育と体力・たくましさの育成に重点を置いています。

本年度実施した全国体力・運動能力、運動習慣等調査について、掛川市の集計結果をお知らせします。

全国平均・県平均を 100 として、指標値により示しました。



## 実技に関する調査結果

### 【小学校5年男子】

※持久走と 50m 走については、タイムの速い方が良い結果であるため、数値を逆にして計算しています。

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	シャトルラン	50m 走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
全国比較	98	99	96	104	106	100	101	102	101
県比較	100	102	99	104	103	100	100	108	101

### 【小学校5年女子】

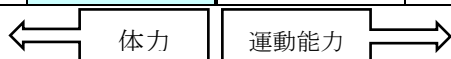
	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	シャトルラン	50m 走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
全国比較	97	96	97	103	103	99	101	105	100
県比較	99	98	100	102	97	99	100	103	99

### 【中学校2年男子】

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	持久走	50m 走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
全国比較	99	98	105	103	103	102	103	104	102
県比較	100	97	104	102	101	101	101	101	101

### 【中学校2年女子】

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	持久走	50m 走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
全国比較	98	98	104	99	101	101	103	104	101
県比較	99	97	103	98	99	100	100	98	98



## 調査結果全体から見えてきたこと

- 掛川市では、県で課題とされているボール投げの結果において、小5、中2の男女すべて全国の平均を上回った（5年連続）。
- 小学校のシャトルラン、中学校の持久走において、小5、中2の男女すべて全国の平均を上回っており、掛川市内の子どもたちの持久力は、全体的に見て高い（2年連続）。
- 児童・生徒に対する質問紙調査では、「中学校に進んだら（中学校を卒業した後）、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思う」と答えた児童・生徒の割合が、小5、中2の男女すべて全国や県を上回っており、生涯を通じて運動やスポーツへ関わっていこうとする意識が高まっていると考えられる。
- 「体育（保健体育）の授業が楽しい・やや楽しい」と答えた児童・生徒の割合が、小5、中2の男女すべて全体の9割に達している。掛川市では、子どもたちにとって体育（保健体育）の授業が充実したものになっている（4年連続）。
- 「朝食を毎日食べる」、「睡眠を8時間以上とっている」と答えた児童・生徒の割合は、小5、中2の男女すべて全国や県を上回っており、掛川市の子どもたちは、全体的に見て規則正しい生活習慣ができていると考えられる。
- △「握力」において、小5と中2の男女ともに全国の平均値に届かなかった。
- △「上体起こし」において、小5と中2の男女ともに全国の平均値に届かなかった。

## 体力の高い子 かけがわの法則

「実技に関する調査」と「質問紙調査」の相関関係を分析すると、次のような子どもの体力合計点が高い傾向にあります。

- ①運動が好き・大切である（小学校5年男女、中学校2年男女）。
- ②家の人から積極的な運動の勧めがある（小学校5年男女、中学校2年男女）。
- ③体育（保健体育）の授業で、話合う活動を行っている（小学校5年男女、中学校2年男女）。
- ④体育授業で課題を解決する活動を行っている（小学校5年男女）。
- ⑤保健体育授業で動きを撮影して活用する活動を行っている（中学校2年男女）。
- ⑥体力・運動能力向上の目標を立てている（小学校5年男女、中学校2年男女）。
- ⑦自分には、よいところがある（小学校5年男女、中学校2年男女）。



## 今後に向けて

掛川市の子どもたちは、例年と同じく、運動好きな子どもが多く運動時間も確保され、自己肯定感も高い結果となりました。今後も、幼稚園ですすめているアクティブチャイルドプログラムを継続して小学校低学年ですすめ、家庭も巻き込んで遊びを通して運動好きの子どもを育てるよう取り組んでいきます。中学校では補強運動（筋力をつける運動）を継続的に行い、発達段階に応じた指導の充実にも努めていきます。

また、来年度は、静岡スタジアムエコパでラグビーワールドカップが開催されます。タグラグビーを教材とした体育の授業を取り入れるなど、地域の特色や子どもたちのニーズに合わせた効果的な取組を推進し、健康教育と体力・たくましさの育成に力を注いでいきます。